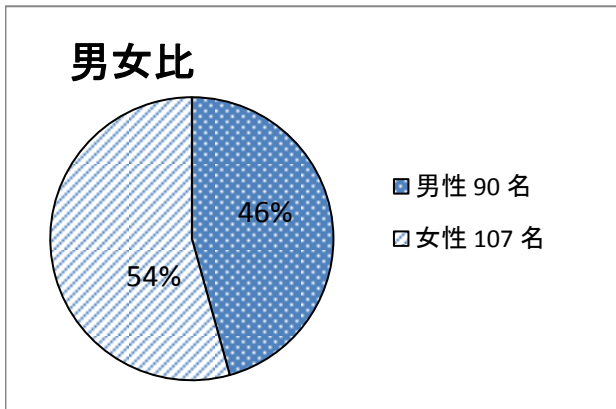


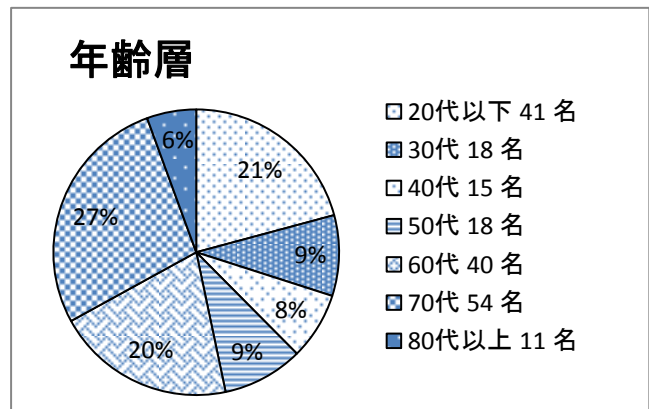
# 藤枝ボランティア登録者への アンケート結果の分析

実施時期 平成29年度末  
 実施対象 個人登録者 197名  
 回答数 128名 (回答率:64.9%)

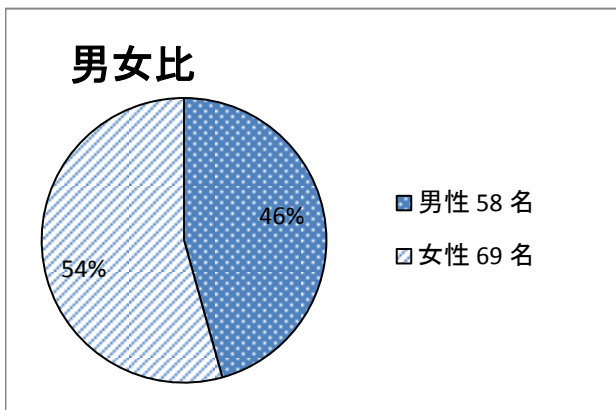
## ●個人登録者の男女比(197名の内訳)



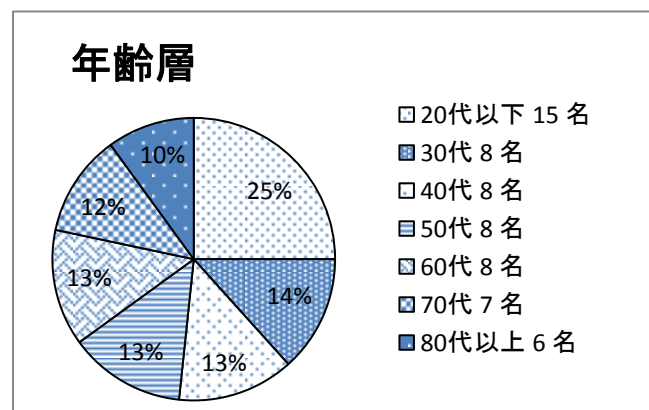
## ●個人登録者の年齢層(197名の内訳)



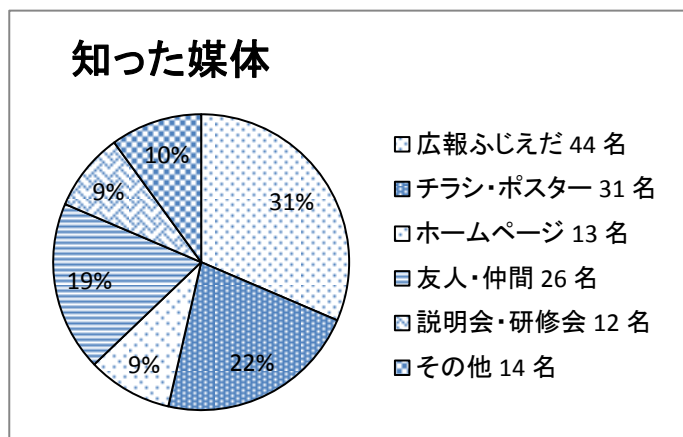
## 問1 回答者の男女比(128名の内訳)



## 問2 回答者の年齢層(128名の内訳)



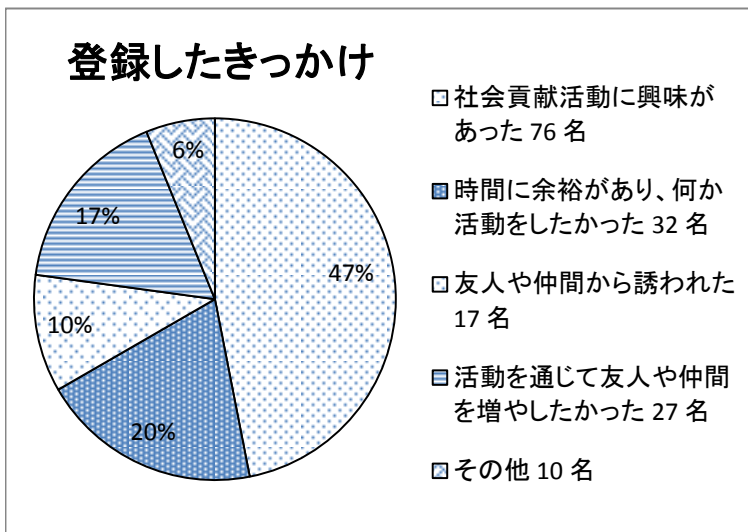
## 問3 Fボラを知ったきっかけは何ですか。



☆Fボラを知った媒体は、依然として「広報ふじえだ」「チラシ・ポスター」「友人・仲間」による口込みが多い。

☆昨年度に比べ、ホームページが大きく増加している。(昨年度は1%)

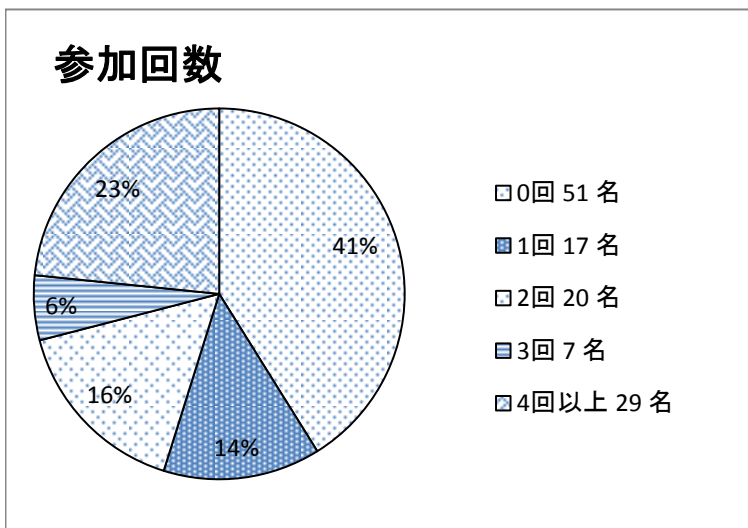
問4 Fボラに登録した動機は何ですか。



☆登録したきっかけは、昨年度と同様に「社会貢献に興味があった」がおおむね半数を占めている。これにより、社会貢献に興味がある市民が多いことが伺える。

☆その他では、市民活動団体支援課、市民活動支援センター(ぴゅあ)、家族からの勧めにより登録している。

問5 これまでのFボラの活動回数は何回ですか。

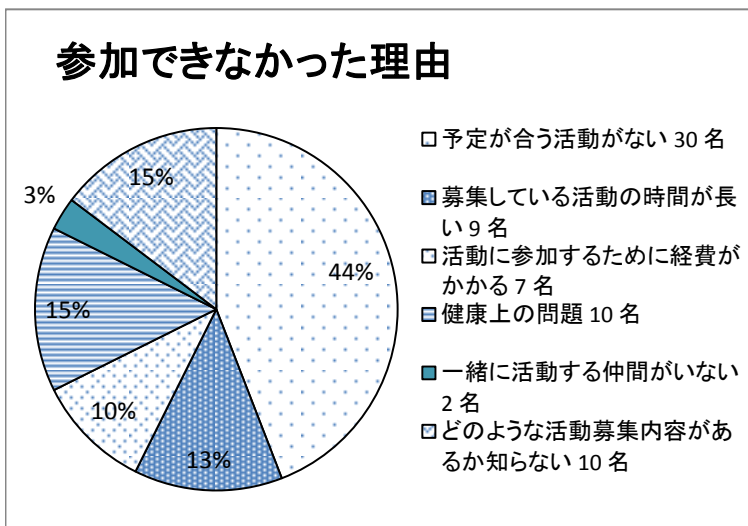


☆参加できなかった人が約4割となり、活動に興味がありながらも活動への参加に結び付いていない。

☆「4回以上」の参加割合が昨年度(14%)より増え、継続的な活動に繋がっている。

☆ボランティアニーズに合った活動の提供をする必要がある。

問6 Fボラへの参加を妨げている要因があるとしたらそれは何ですか。



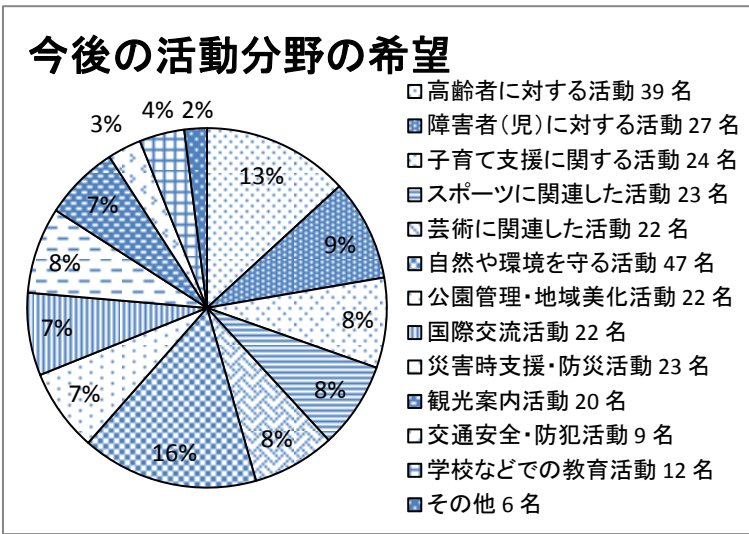
☆0回と回答した人のうち、30人は「予定が合う活動がない」との理由であり、活動したくても参加できなかった人もいた。

☆「どのような活動募集内容があるか知らない」が15%を占めたことから、周知方法を工夫しなければならないことが判明した。

☆「その他」としては、「活動予定表がほしい」という意見や「既に定員に達していた」などがあつた。

☆人気があるイベントは参加希望者も多く、早く定員に達することが予測される。

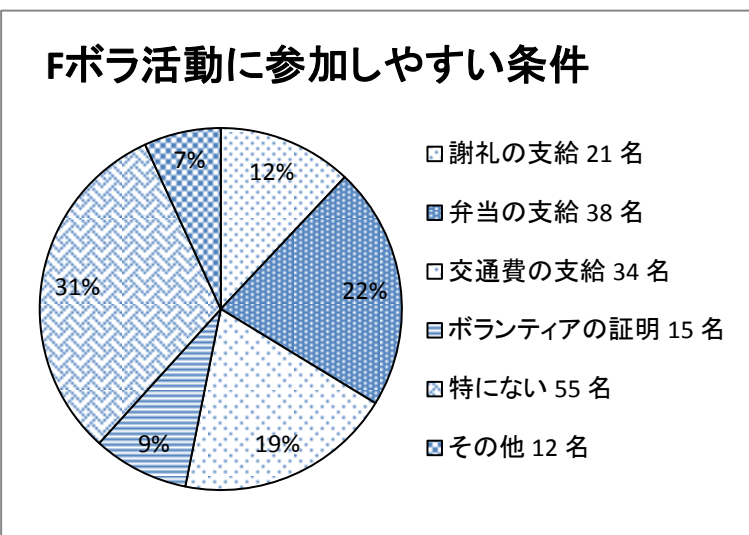
問7 今後、どんなFボラの活動に参加したいですか。



☆前年度と同様に、「自然や環境を守る活動(16%)」「高齢者に対する活動(13%)」が多い。

☆ボランティアニーズに合った活動を提供していく必要がある。

問8 Fボラの活動に参加しやすい条件はありますか。



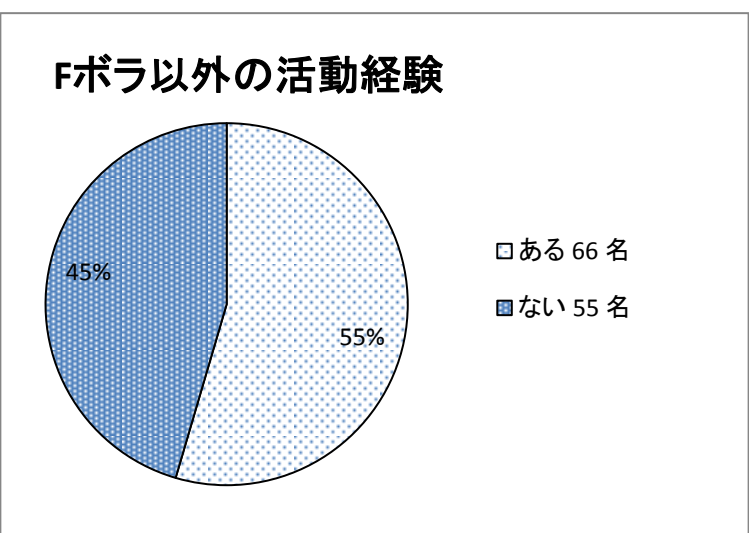
☆「弁当の支給」は、1日参加になるとお弁当のことを気にするのは大変との意見があった。

☆「ボランティアの証明」は、学生で選択している人が多く、学生が参加する場合は証明書が必要となる。

☆昨年度(4%)と比較し、「謝礼の支給」の割合が増え、対価を求めている市民が増えている。

☆イベント時に、「担当者が誰かわからない」と意見もあり、担当者を明確にし、活動しやすい環境を整える必要がある。

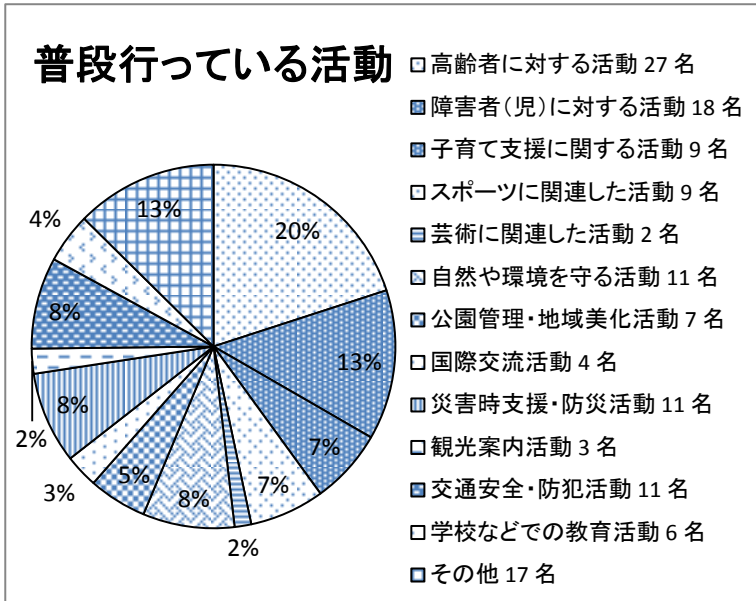
問9 Fボラの活動以外に行っている活動はありますか。



☆Fボラ以外の活動を経験をしている人は、昨年度(67%)より減った。

☆新規に登録した人ではFボラのみで活動している人が多いと思われる。

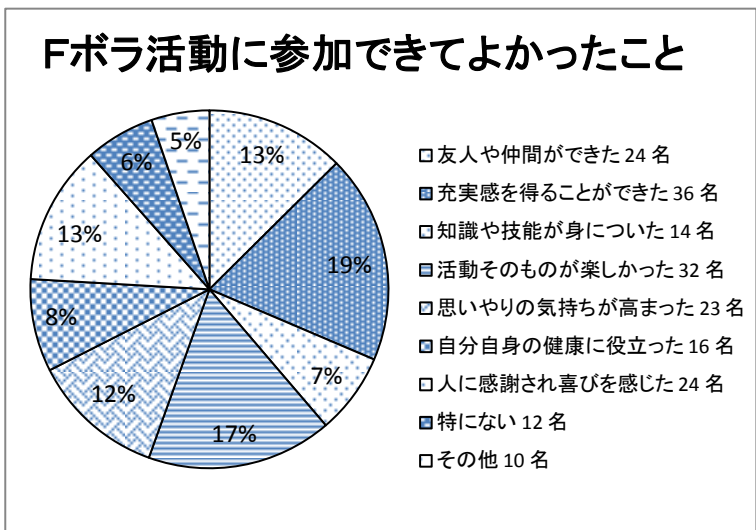
問10 問9で「①ある」と答えた方へ、どんな活動をしていますか。



☆昨年度と比べ目立った変化はなく、「高齢者に対する活動」及び「障害者(児)に対する活動」が多い。

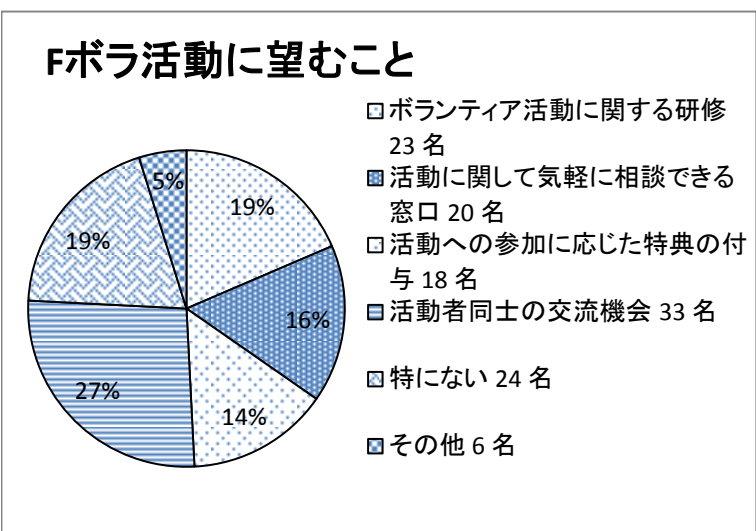
☆「その他」では、地区交流センターでの活動が多い。

問11 Fボラの活動に参加してどのようなところがよかったですか。



☆「充実感を得ることができた」「活動そのものが楽しかった」が比較的多かった。

問12 Fボラに対して望むことはありますか。



☆「募集情報などを得やすい環境づくり」「活動者同士の交流機会」「ボランティア活動に関する研修」を望む声が多く、依頼元や担当課からのきめ細かい情報提供が必要である。

☆マッチングイベント等では、Fボラに参加した感想を聞いたり、今後のFボラの予定も発信したい。